



プログラムの実施方法と 具体的教育方法

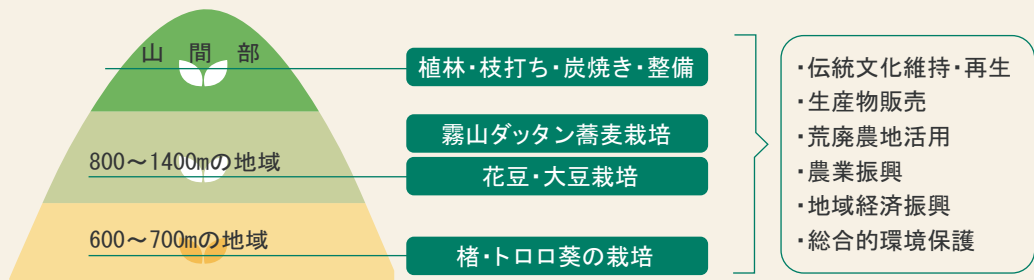


プログラムの内容

長野県小県郡長和町を教育実施地域として、①耕作放棄地再利用・伝統文化維持教育として標高600～700mの地域で和紙原料（「楮」や「トロロ葵」）、「大豆」を生産し、②食料自給率向上・耕作放棄地再利用教育として標高800～1,400mの地域で特産物「霧山ダツタン蕎麦」や「花豆」等を生産します。また③山間部では植林・枝打ち・林地整備・炭焼実習・河川清掃等による森林保全・水源涵養等を学生が

行い、地域再生・活性化に貢献できる能力を教育・育成します。④生産した特産物は学生自身が販路確保・促進のための販売実習を行い、コスト感覚、リスク管理・対応方法、ビジネスマナー等を修得します。

これらを地域再生・活性化教育と生活体験教育の双方の視点から実施し、年間を通じた教育体制を作ります。このような取組を、学生も参画した地域再生・活性化計画の中で実施します。



具体的取り組み内容（学生と地域住民による協働）

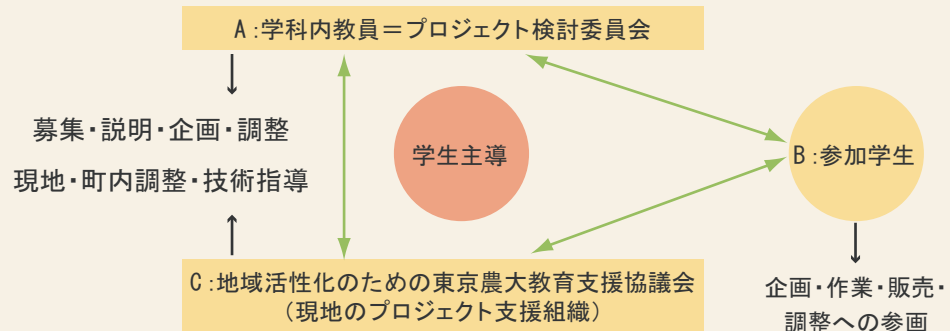
- 遊休荒廃農地の活用・食料自給率の向上
（地域特産品の楮、霧山ダツタン蕎麦、花豆等の栽培と販売…伝統文化の維持と地域活性化）
- 植林・枝打ち、林地整備、炭焼き、河川清掃…総合的環境保護活動



教育目的＝学生の自己実現、社会的ニーズへの対応、社会性の向上



プログラムの実施方法



プログラムの評価体制

- 学内評価委員会（副学長・学科内カリキュラム委員・学生代表）
- 外部評価委員（長和町行政・地域団体）
- PDCAサイクル、フィード・バックとフィード・フォワードによる取り組みの発展

